

寫真週報



純忠比な  
 軍神九柱

特別攻撃隊の偉勳  
 畏くも上聞に達す

昭和十六年十二月八日大東亞戦争開戦後、太平洋戦線の露地ハワイ真珠灣を攻撃して海軍にも全面的な主力を投入したわが特別攻撃隊の偉勳は畏くも、天徳に達しました。上特例によつて軍神九柱擧つて二階級進級の勲を授け、山本聯合艦隊司令長官またその武勳の披瀝を認め感状を授けました。

海軍省發書（昭和十七年三月六日午後三時）昭和十六年二月八日布哇海戦に於て特殊攻撃隊を以て布哇軍港内に突入し偉功を奏したる特別攻撃隊に対し聯合艦隊司令長官より左の通感状を授けられ右の官海軍大臣より奏上す。

感 状 特別攻撃隊  
 昭和十六年十二月八日開戦翌朝挺身隊米國太平洋艦隊主力を布哇軍港に襲撃し友軍飛行機隊と呼應して多大の戦果を挙げ帝國海軍人の忠烈を克く中外に宣揚し全軍の士氣を顯揚したるは其の武勳攻群なりと認む。  
 仍て茲に感状を授與す。  
 昭和十七年二月十一日  
 聯合艦隊司令長官 山本 五十六



海軍中佐 岩佐直治（二十才）  
 群馬縣前橋市出身

海軍大尉 廣尾影（二十才）  
 佐賀縣加村出身

海軍兵曹長 上田定（二十才）  
 廣島縣尾道村出身

海軍中佐 岩佐直治（二十才）  
 群馬縣前橋市出身

海軍少佐 横山正治（二十才）  
 鹿児島縣鹿島村出身

海軍特務少尉 横山薫範（二十才）  
 鳥取縣古布佐村出身

海軍兵曹長 片山義雄（二十才）  
 岡山縣北城村出身

海軍少佐 横山正治（二十才）  
 鹿児島縣鹿島村出身

海軍少佐 古野繁實（二十才）  
 福岡縣直井村出身

海軍特務少尉 佐々木直吉（二十才）  
 鳥取縣北村出身

海軍兵曹長 稻垣清（二十才）  
 三重縣川合村出身

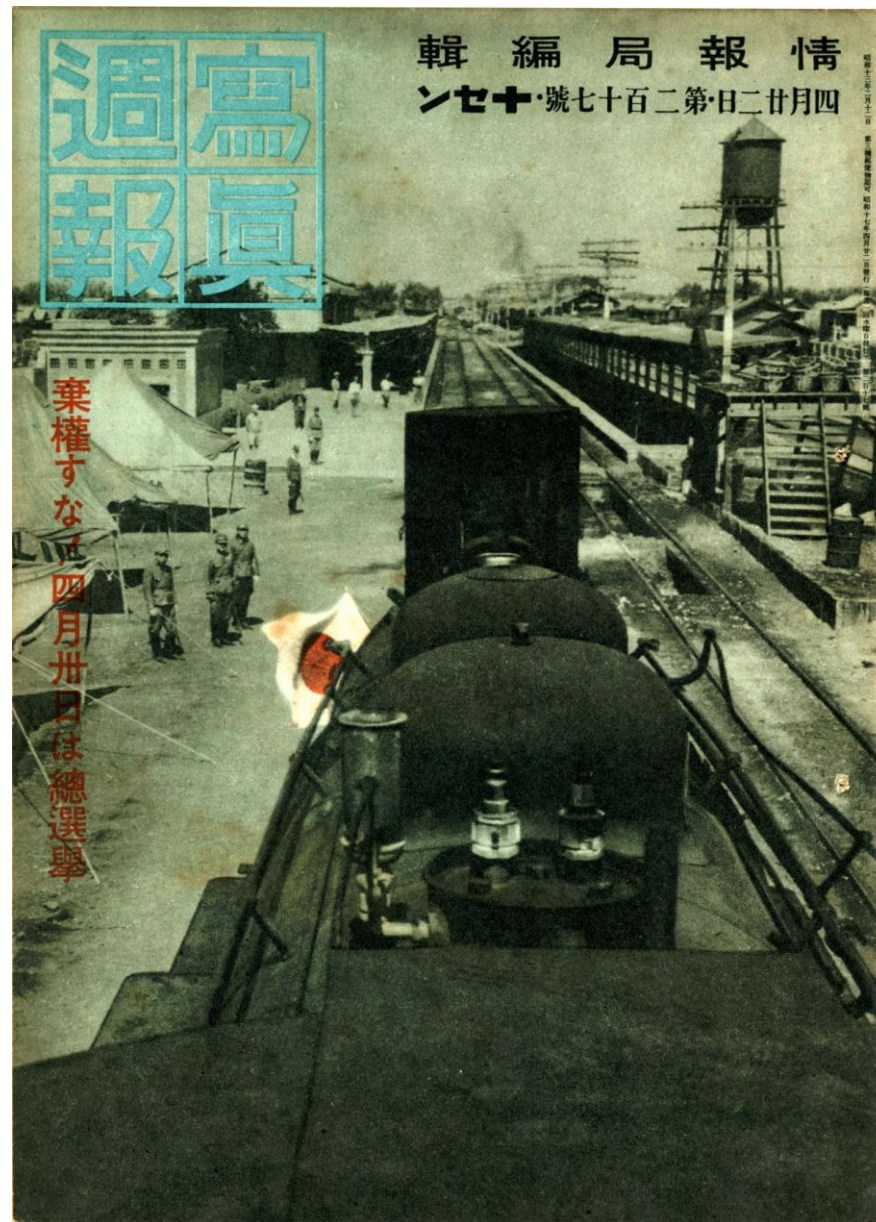
海軍少佐 古野繁實（二十才）  
 福岡縣直井村出身



**軍神九柱の  
合同海軍葬**

四月八日 東京日比谷公園  
昭和十六年十二月八日未明、ハワイ  
真珠灣を襲撃し、米太平洋艦隊主力を  
覆滅して瀕死深く沈み、再び還らない  
純忠無比の軍神九柱の合同海軍葬は、  
月とを變れその命日に當る四月八日、  
廣瀬中佐の海軍葬以來絶えて久しい森  
殿の盛儀をもつて日比谷公園葬場で行  
行はれた。この日一億國民は齊しく  
新たな感謝と限りない追慕敬愛の念を  
もつて永へとその御靈を送つた。  
海行かば水漬く屍、九軍神の英靈は  
天翔つて、いまこそ祖國の榮光の前、  
赤光ららかなこの葬場に至り、かく  
て醜の御魂、國の護りとして永へに  
鎮まつたのであつた。

↑ 艦軍は靴か難儀へ進む  
↓ 紋服の袴かめて別佐中佐の母堂は  
玉串を捧げて涙かしの遺影を得く



編輯局報情  
ンセ十・號七十七百二第日二廿月四

寫眞  
週報

棄權すなは四月卅日は總選舉

写真週報1942年4月22日号